



平成26年1月29日

各位

上場会社名 東京エレクトロン デバイス株式会社
代表者 代表取締役社長 栗木 康幸
(コード番号 2760)
問合せ先責任者 財務部長 田中 弘毅
(電話 045-443-4000)

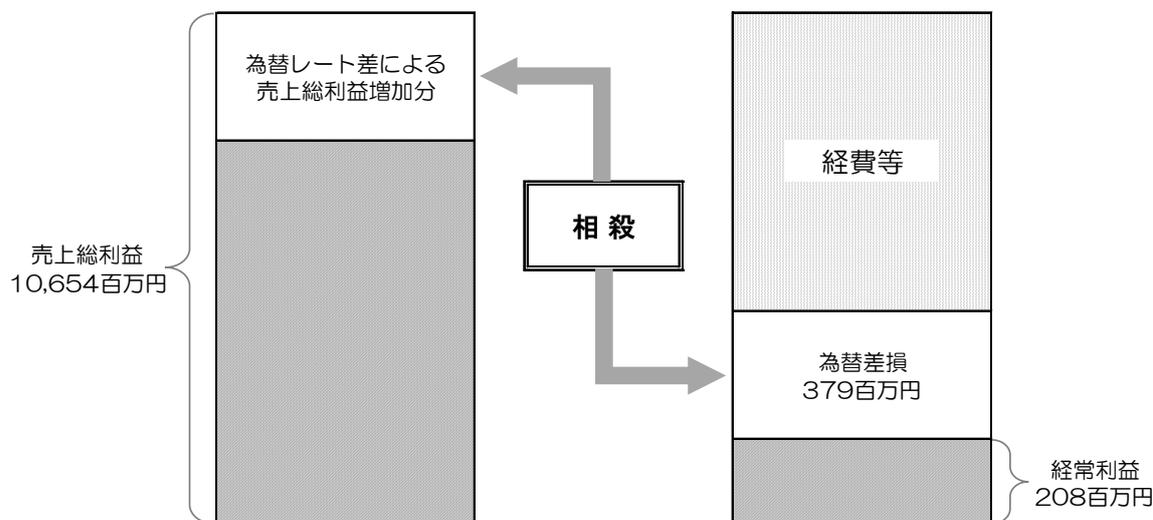
営業外費用（為替差損）の計上要因に関するお知らせ

平成26年3月期第3四半期連結累計期間（平成25年4月1日～平成25年12月31日）における営業外費用（為替差損）の計上要因につきまして、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 営業外費用（為替差損）の計上理由および平成26年3月期第3四半期連結累計期間における計上額について
当社の為替変動リスクに対するヘッジ方針は、債権・債務の全額につき先物為替予約を締結することで円貨ベースでの受取額や支払額を確定させることです。これにより、会計上の処理としては、予約レートと実際の売上及び仕入時点の為替レートとの差が為替差損益として発生いたしますが、同時に同額が売上総利益増減として加減算されるため、経常損益の段階ではヘッジの効果が反映されることとなります（為替差益の場合には同額の売上総利益が減少し、為替差損の場合には同額の売上総利益が増加することとなります）。
平成26年3月期第3四半期連結累計期間においては、3億7千9百万円の為替差損を計上しておりますが、売上総利益がほぼ同額増加しており、ヘッジの効果を反映した経常利益を表示しております。
2. 業績に与える影響
上記の営業外費用につきましては、本日開示いたしました「平成26年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)」をご参照ください。

(ご参考) 平成26年3月期第3四半期連結累計期間における為替のヘッジのイメージ図



円安進行時 : 売上総利益が増加、為替差損が発生

以上